

史料番号	字句	よみ	意味
1	被立置候得共 耳目 僉議 被下度 允許 地所 蓋し 藩屏 爾後 因って	タチオカレソウラエドモ ジモク センギ クダサレタク インキョ ジショ ケダシ ハンペイ ジゴ ヨツテ	設置されたけれども 聞くことと見ること 多人数で評議すること して下さるよう 許すこと 許可 土地 地面 まさしく たしかに 諸侯の称 大名 それ以来 以後 だから
2	伍長 已上	ゴチョウ イジョウ	組長 五人組頭 以上
4	五石宛 頂戴仕凌罷在候処 小前 不厭 水換仕候得共 涸果て 難渋 尤 徒に 已 一統歎入罷在候 乍去 此儘 打捨置事不相成 仍て 深鑿 可有之 奉存候得共 罷有候 詮儀 検査被下成 仁恤 偏に	ゴコクズツ チョウダイツカマツリシノギマカリアリソウロウトコロ コマエ イヤガラズ ミズカエツカマツリソウラエドモ カレハテ ナンジュウ モットモ イタズラニ ミ イトウナゲキイリマカリアリソウロウ サリナガラ コノママ ウチステオクコトアイナラズ ヨリテ シンサク コレアルベシ ゾンジタテマツリソウラエドモ マカリアリソウロウ センギ ケンサナシクダサレ ジンジュツ ヒトエニ	五石ずつ いただいて(苦しい生活を)しのいでいましたが 下層農民 嫌わず 水換えをいたしましたけれど 干れてしまって 干上がってしまって 苦勞する 困る 特に ただし むだに だけ みんな思いどおりにならずため息をついています けれども このまま なりゆきにまかせて ほっておくこともできないで よって だから 深く削る あるだろう 思っておりますが でございます 評議して明らかにすること 検査して下さって あわれんで情をかけること ひたすら
5	仮令 引取申間舗事 紛紜 説諭 漑く 聊 奥書	タトエ ヒキトリモウスマジキコト フンウン、フンヌン セツユ ソソグ イササカ オクガキ	もし…だとしても 引き取ってはいけない もめごと 紛糾 悪い行いを改めるよう言い聞かせること 水を引いて耕地に流し込む ほんの少し わずか 官公署で、書類に記載された事項が真正であることを証明するために末尾に書く文
7	后 思量 抽籤	ノチ シリョウ チュウセン	後 いろいろと思いをめぐらし考えること くじびき
8	擊柝 卒 駁議 濶底	ゲキタク オワル バクギ ウンテイ	拍子木を打ち鳴らすこと 木槌を打って注意を集めること 終わる 人の説に反論すること 十分に徹底する
9	誣言 百般 茲 郡衙 多端 喋々 然るに 図らんや 甚し 驚愕 信を措く	フゲン ヒヤツパン ココ グンガ タタン チョウチョウ シカルニ ハカランヤ ハナハダシ キョウガク シンヲオク	わざと事実をまげていること さまざまな事柄 ここ ここに 郡の役所 事件や仕事が多くて忙しいこと 口数の多いこと くだくだしい 繰返している けれども 思いがけない 図々しい ひどい 度を越えている 非常に驚くこと 信用する

史料番号	字句	よみ	意味
	能はざりし 予て 所以 随て 忽々 屢々 居村 悉皆 廉 如斯 所為 安着 縷述 有間敷事 遏め 忌諱 不憚	アタワザリシ カネテ ユエン シタガツテ タチマチ シバシバ キョソソ シツカイ カド カクノゴトシ ショイ アンチャク ルジュツ アルマジキコト トドメ キイ、キキ ハバカラズ	できない あらかじめ 前もって 理由 したがって たちまち たびたび 自分の住んでいる村 残らず 全部 という理由 このような 振る舞い 落ち着くこと 事細かに述べること あつてはならないこと さえぎって 拒避して 嫌って避けること 気がねして避けなくて 恐れなくて
11	儘 旁以て 自今	ママ カタガタモツテ ジコン	そのまま 相変わらず いずれにしても 今後
12	虎病 猖獗 稍 繁務 叮嚀 汲々 容易く 恂々 履む 虎列拉 兎角 避病院 妄言 頗る	コビョウ ショウケツ ヤヤ ハンム テイネイ キュウキュウ タヤスク キョウキョウ フム コレラ トカク ヒビョウイン モウゲン スコブル	コレラ 猛威をふるうこと 少し わずらわしくて忙しい勤務 ていねい 念入りに いそがしくする あくせくする 簡単に あまり考えずに おそれおののくさま びくびく 踏む コレラ ややもすると ともすると 伝染病患者を収容する病院 うそ でまかせ とても 非常に 少しばかり
14	稠密 一朝 献納仕度候間 相成度	チュウミツ イチチョウ ケンノウツカマツリタクソウロウアイダ アイナリタク	こみあっていること ある日 わずかな間 献納したいので そうしていただきたい
15	尤も 不拘 方今 仮令 儘 杯 無詮形 虚説 唱懸 相聞 以の外 心配不致様 小前 可申聞候 請印 順達 可相返者也 往還 井 作場 近傍 浚 水不溢様 申聞 試補	モットモ カカワラズ ハウコン タトエ ママ ナド センカタナキ キョセツ トナエカケ アイキコエ モツテノホカ シンパイイタサザルヨウ コマエ モウシキカスベクソウロウ ウケイン ジュンタツ アイカエスベキモノナリ オウカン ナラビニ サクバ キンボウ サラウ ミズアフレヌヨウ モウシキカシ シホ	ただし 関係なく このごろ 現今 もし…だとしても そのまま 等 なすべき方法が見つからない どうしようもない 根拠のないいわさ 激しく言う そう聞こえる とんでもないこと けしからぬこと 心配しないように 下層農民 よく説明して納得させるようにすること 公文書に捺印する 書類を順に送る 返すようにしなさい 主要な道路 並びに および また 耕作地 付近 土砂を掘りあげて取り除く 水があふれないように よく説明し 事務の見習いをする者

史料番号	字句	よみ	意味
	交々 大破不及様可	コモゴモ、カタガタ 取計也 タイハニオヨバヌヨウトリハカラウベキナリ	交代で かわるがわる 大きく破損しないように処置をすべきである
16	丈量 無御座候間	ジョウリョウ ゴザナクソウロウアイダ	土地の面積を測量すること ございませんので
18	如何様被成候共 申立間敷候 如件	イカヨウニナサレソウラヘドモ モウシタテマジクソウロウ クダンノゴトシ	どのようにされても 申し立ていたしません 以上でございます
20	拝承 曾て 合力 蓄 希くは	ハイショウ カツテ ゴウリキ タダ コイネガワクバ	承知することをへりくだっていう語 うけたまわりました いままで 以前には 力を貸すこと ただ それだけ お願いしたいことは 希望していますのは
21	筈 苟も 旁々 不日	ハズ イヤシクモ カタガタ フジツ	きつと 当然 仮にも もしも ついでに かつ 日数をあまりへないこと
22	方り 合綴 就れ 爰に	アタリ ゴウテイ、ゴウテツ イズレ ココニ	当り 予定であるので 2つ以上のものを1つに綴る どれも すなわち ここにおいて この時に
23	往昔 権柄 忽ち 消尽 徒 尠ない 必竟 宜しき	オウセキ、オウジャク ケンペイ タチマチ ショウジン ト スクナイ ヒッキョウ ヨロシキ	むかし 政治上の実権 あつという間に すっかり使い果たすこと 人々 ものども 少ない 結局 ちよどよい
26	掌る 掌理 勿る	ツカサドル ショウリ ナカル	管理する 行う ある仕事を担当してとりまとめること ～しない
27	狭少 繁劇 差支 因て 所以	キョウショウ ハンゲキ サシツカエ ヨリテ ユエン	狭い きわめて忙しいこと 都合の悪いことがおきる だから そのために 理由
28	郡衙 稠密 繁劇 寧ろ	グンガ チュウミツ ハンゲキ ムシロ	郡の役所 こみあっていること きわめて忙しいこと どちらかといえば
29	客月 逐て 諒知相成居候 曩に 齟齬 廉 御出席相成度	カクゲツ オツテ リョウチアイナリオリソウロウ サキニ ソゴ カド ゴシュッセキアイナリタク	先月 近いうちに ご了解していただいております 先に 食い違ふこと 事項、原因、ことがら ご出席いただくように
30	安寧 吾人 泰西 美妙 阿弗利加 蒸気缶	アンネイ ゴジン タイセイ ビミョウ アフリカ ジョウキガマ	無事でやすらかなこと われわれ 西洋 美しく、すぐれていること アフリカ ボイラー
31	一己 思量 備荒 公儲金 前陳	イツコ シリョウ ビコウ コウチョキン ゼンチン	自分だけ 思いはかること 凶作や災害に備えておくこと 公が持つ貯金 前述 前に述べたように
32	講究 猖獗 浩歎	コウキュウ ショウケツ コウタン	深く調べ説き明かすこと 猛威をふるうこと ひどくなげくこと

史料 番号	字句	よみ	意味
	忽 難計 於是 諮詢 全う 如斯 而て 迎も 何卒 洞見	タチマチ ハカリガタシ コレニオイテ シジュン マツウ カクノゴトク シコウシテ トテモ ナニトゾ ドウケン	あつという間に すぐに 予想できない ですから だから 諮問 完全に行う 手落ちのないようにする このように したがって だから どうてい どうか 洞察
33	海嘯 殆ど 勿論 嵩 就中 悉く 因り 悖る 去り迎て 衰頹 禿地	カイショウ、ツナミ ホトンド モチロン カサ ナカンズク コトゴトク ヨリ モトル サリテ スイタイ ハゲチ	津波 大部分 およそ いうにおよばず 多くの とりわけ 全て そのために そむく 反する とはいうものの 衰退 荒地
34	厚薄 斟酌 詢り	コウハク シンシャク ハカリ	物事の程度 くみとって手加減すること 問う 相談する 意見を聞く
35	難堪	タエガタク	困難 辛抱できない
36	衰頹 僅々 猖獗 纒かに 如斯 迎も 然して 所以 旱害	スイタイ キンキン ショウケツ ワズカニ カクノゴトキ トテモ シカシテ ユエン カンガイ	衰退 わずかに 猛威をふるうこと わずかに このようなわけで どうてい ということで そんなわけで 理由 ひでりのための災害
37	稟申 頻り 止を得ざる 寧ろ 不日	ヒンシン、リンシン シキリ ヤムヲエザル ムシロ フジツ	申し上げること たびたび しかたがない どちらかといえば 日数をあまりへないこと
38	纏め 然らん 曩きに 稟請 將た	マトメ シカラシ サキニ リンセイ ハタ	決まりをつけ ふさわしい その方がよい 以前に 前に 申し出て請求すること あるいは
39	弊 恰も 仍て 参向	ヘイ アタカモ ヨリテ サンコウ	よくない習慣 ちょうど だから 参上 おいでになる
40	大詔 煥發 一列 勤儉儲蓄 呷 恤兵	タイショウ カンパツ イチレツ キンケンチョウチク カマス ジュッペイ	天皇が広く国民に告げる言葉 詔勅 火が燃え出るように輝き現れること 突然出される 一緒 同じ よく働いて儉約しお金をたくわえること わらむしろを二つ折りにし、縁を縫いとじた袋 物品を送って、戦地の兵士を慰問すること
41	稠密 不尠 御詮議相成候様致度	チュウミツ スクナカラズ ゴセンギアイナリソウロウヨウイタシタク	こみあっていること 少なくない 多い ご検討くださいますように
42	百般 弊習 稟告 諸所	ヒヤツパン ヘイシュウ リンコク ショシヨ	さまざまな事柄 悪い習慣 申し上げること あちこち 方々
43	浜し 頗る 頓に 駉々 委す	ヒンシ スコブル トミニ シンシン マカス	面し 海岸にある とても 非常に 急に 速く進むさま そのとおりにする

史料番号	字句	よみ	意味
	忽かせ 速成 況や 言を俟たず 殊に 所謂 支障不尠 孜孜 延て 進運 鞏固	ユルガセ ソクセイ イワンヤ ゲンヲマタズ コトニ イワユル シショウスクナカラズ シシ ヒイテ シンウン キョウコ	いいかげんに 早く仕上げること まして なおさら あらためていうまでもない もちろんである 特に 世間一般にいう さしつかえがほとんどない 熱心に 次いで また 更に 進歩・向上していく機運や傾向 すすめる 強くしっかりして、ゆるがないさま
45	稟請 尚益	リンセイ ナオマスマス	申し出て請求すること その上ますます 一層
46	刺戟 就中 鞏固 吾人 輕佻浮薄 華奢 金華 玉楼 不知不識 裡に 耽溺 逐日 固より 嚙臍 胎す 刻下 焦眉 涵養 思料 十全 尚武 而も 延て 人世行路 干戈 呪詛 矧んや 転た 所謂 風靡 攪乱 安寧 通有性 弛緩 豪奢 準繩 稍や 必竟 賜 爾来 刑余 処世 憧憬 糟糠 粒粒辛苦 凌ぎ 副う 勤儉 力行 囹圄	シゲキ ナカンズク キョウコ ゴジン ケイチョウフハク カシャ キンカ ギョクロウ シラズシラズ ウチニ タンデキ チクジツ モトヨリ ゴウセイ キザス コッカ ショウビ カンヨウ シリョウ ジュウゼン ショウブ シカモ ヒイテ ジンセイコウロ カンカ ジュソ、ズソ イワンヤ ウタタ イワユル フウビ カクラン アンネイ ツウユウセイ シカン ゴウシャ ジュンジョウ ヤヤ ヒツキョウ タマモノ ジライ ケイヨ ショセイ ショウケイ、ドウケイ ソウコウ リュウリュウシンク シノギ ソウ キンケン リッコウ レイギョ	刺激 とりわけ 特に 強くしっかりして、ゆるがないさま われわれ 気分が浮ついていて、行動が軽々しいこと はででぜいたくなこと 贅(ぜい)を尽くした飾り りっぱな御殿 知らず知らず いつの間にか 間に 一つのことにならなくなって、他を顧みないこと 日を追って 当然のこと もちろん ほぞをかむ＝どうにもならなくなったことを悔やむ おこす ただいま 目下 差し迫った状況にあること 無理をしないでゆっくりと養い育てること 思いはかること 万全 武道・武勇を重んじること その上 次いで また 更に 人がこの世に生きていく道程 戦争 のろうこと なおさら 当然 いよいよ ますます 世間でよくいわれている 広い範囲にわたってなびき従わせること かき乱すこと 無事でやすらかなこと 同類のものに共通して備わっている性質 ゆるむこと ぜいたくで、はでなこと 手本 規則 すこし とうとう ついには めぐみ いただきもの それ以来 以前に刑罰を受けたこと 世渡り あこがれること 粗末な食べ物 こつこつと苦勞を重ね、努力を積むこと のりこえ 期待にこたえる そのとおりにする 勤勉で儉約なこと 努力して行うこと 牢屋(ろうや) 獄舎
47	歎願 略叙 頗る 頻りに	タンガン リヤクジョ スコブル シキリニ	情を詳しく述べて熱心に頼むこと あらましだけを簡略に述べること とても 非常に たびたび

史料番号	字句	よみ	意味
	吞吐 如斯 叙上 忽ち 閑 鎮撫 尽瘁 稍 夙に 了知 棲息 面謁 不堪 敬白	ドント カクノゴトク ジョジョウ タチマチ ヒマ チンブ ジンスイ ヤヤ ツトニ リョウチ セイソク メンエツ タエズ ケイハク	入れたり出したり このように 前に述べる すぐに 暇 反乱や暴動などをしずめて、民を安心させること 自分の労苦を顧みることなく、全力を尽くすこと ともすると ずっと以前から よく理解すること ある場所にすむこと お目にかかること 辛抱できない がまんできない 手紙や願文(がんもん)などの末尾に用いる語
48	救恤 逐年 昂騰 昂進 狂奔 騰り 下賜 施米 細民 施与	キユウジュツ チクネン コウトウ コウシン キョウホン アガリ カシ セマイ サイミン セヨ	困っている人に見舞いの金品などを与えて救うこと 年々 物価などがひどく上がること 物事の度合いが高まること 狂ったように走りまわること 値上りする あたえる 上の者が下の者へ支給する 困窮者などに米を施すこと 貧しい人たち 金品を恵み与えること
50	將に 端緒 則 止を得ざる 蓋し 成る可く 逡巡 左れば 抑 嗚嗟 茲に 叨りに 譬へは 苟も 偏頗 吁 慈恵 愁情 忌憚 採納 惶々 頓首	マサニ タンショ、タンチョ スナワチ ヤムヲエザル ケダシ ナルベク シュンジュン サレバ ソモソモ アア ココニ ミダリニ タトエバ イヤシクモ ヘンパ アア ジケイ シュウジョウ キタン サイノウ コウコウ トンシュ	ちょうど 物事の始まり すぐに しかたがない まさしく たしかに できるだけ ためらい そうであるならば さて ああ 悲しいことには ここに ますます だから いいかげんに 例をあげていうと 少なくとも もしも かたよっていて不公平なこと ああ 慈愛の心をもって他に恵みを施すこと 悲しみに沈む気持ち いみはばかること 遠慮すること 取り上げること おそろおそろ 末尾に書き添えて、相手に対する敬意を表す語
51	休戚 須叟 措き 掛名 稟議 面従 乍去 敢て 儘に 荏苒 区々 償はざる 不得止 処断 爰に 自ら 否 感服 悉く 差障り 孜々	キユウセキ シュウ【シュユ】 オキ カカリメイ リンギ メンジュウ サリナガラ アエテ ママニ ジンゼン クク ツグナハザル ヤムヲエズ ショダン ココニ オノズカラ イナ カンブク コトゴトク サシサワリ シシ	喜びと悲しみ 幸と不幸 しばらくの間 出さない 置いておく 係名 係の者が案を作成して関係者に回し、承認を求めること 人の前でだけ服従すること けれども むりやりに 仕方なく そのとおりに なすことのないまま歳月が過ぎるさま まちまちで、まとまりがないさま うめあわせができない しかたなく はっきり結論を出すこと このような状態に 自然と ではなく 深く感心して、尊敬・尊重の気持ちを抱くこと 全員 みんな 困ること 支障 熱心に努め励むさま

史料番号	字句	よみ	意味
	不利益無之候様 御上申被成下 被置候様御取計被下度 恐惶頓首奥印	フリエキコレナクソウロウヨウ ゴジョウシンナシクダサレ オカレンソウロウヨウオトリハカライクダサレタク キョウコウ トンシュ オクイン	不利益のないように おっしゃてくださるよう 設置してくださるよう取り計らいくださるよう 文末のことば おそれいりますが 末尾に書き添えて、相手に対する敬意を表す語 作成した書類の記載事項の正しいことを証明するために、その終わりに押す印
52	内訓 将 不能 仮令 軋轢 慮 兎も角 輿論 如何ん 尤も 迎も 甚た	ナイケン ハタ アタワズ タトエ アツレキ ウレイ トモカク ヨロン イカン モットモ トテモ ハナハダ	内密の訓令 また、内部に対する訓令・訓示 または できない もし…だとしても 仲が悪くなること あらそい 心配 ともかく さておき 世間一般の人の考え 世論 どうでしょうか 当然 なるほど とても とうてい ひどく とても
53	這般 諮詢 御許容被成下度 此段上申仕候也	シヤハン シジュン ゴキョウナシクダサレタク コノダンジョウシンツカマツリソウロウナリ	このたび 今般 参考として他の機関などに意見を問い求めること 諮問 ご許可くださるよう このことを申し上げます
54	累ね 現今 慮り 希ひ 商議 当路者 恬淡 容られず 往苒 奉呈 却け 高論 遵奉 如斯 纏むる 洗滌 积然 与に 奮て 栄辱 罹る 拘らす 日を曠し 焦慮 嗚呼 頓に 夥多 汚辱 講究 後患 賭し 所以 頓首 敬白	カサネ ゲンコン オモンバカリ コイネガイ ショウギ トウロシャ テンタン イレラズ ジンゼン ハウテイ シリゾケ コウユ ジュンポウ カクノゴトク マトムル センデキ シャクゼン トモニ フルツテ エイジョク カカル カカワラズ ヒヤコウシ ショウリョ アア トミニ カタ オジョク コウキウ コウカン トシ ユエン トンシュ ケイハク	経て 代々続いて 現在 考えて 希望し 相談し合うこと 協議 重要な地位にいる人 欲が無く、物事に執着しないこと 採用されない 聞き入れてもらえない なすことのないまま歳月が過ぎるさま つつしんでさしあげること 採用しない 取り上げない 他人を敬って、その説論をいう語 あなたのおっしゃること 法律・命令・教えなどを尊重して、これに従うこと このような まとめる 洗浄 洗い流し 疑いや迷いが解けてすっきりするさま いっしょに がんばって 名誉と恥辱 こうむる ～となる けれども 日を空しくすごすこと 無駄に時間がたって あせっていらだつこと ああ 急に すぐに 多すぎる 過多 地位・名誉などをけがされることによる、はずかしめ 物事を深く調べ、その意味や本質を説き明かすこと 後日のうれい 失敗や犠牲を覚悟して、物事にあたる 理由 末尾に書き添えて、相手に対する敬意を表す語 手紙や願文(がんもん)などの末尾に用いる語
55	屢々 唱道 郡衙	シバシバ ショウドウ グンガ	たびたび 思想や主張を人に先立って唱えること 郡の役所
56	乃至 頗る 慮かり	ナイシ スコブル オモンバカリ	～から あるいは とても 考えて

史料番号	字句	よみ	意味
	徳義 諒とし 茲に 興廢 恰も	トクギ リョウトシ ココニ コウハイ アタカモ	人として守るべき道德上の義務 よしとする もっともだとして承知する ここに この時に 盛んになることと、すたれること ちょうど
57	丁年 拘らず 章程 曩きに	テイネン カカワラズ ショウテイ サキニ	一人前に成長した年齢 満20歳 問わず 規則・法式を箇条書きにしたもの 事務執行上の細則 前に
58	這般 宜敷 吐露 稿 時宜 大字限 什長 投標 悉く 難捨置 起草 遑 兎も角 可然 悉皆	シャハン ヨロシク トロ コウ ジギ オオアザキリ ジュウチョウ トウヒョウ コトゴトク ステオキガタシ キノウ イトマ トモカク シカルベシ シッカイ	このたび 今般 十分に いいように 心に思っていることを、隠さずうちあけること 文章などの下書き 原稿 適当な時期 大字を単位として 字限図(あざきりず) = 明治初年に全国的に作製された地籍図 10軒単位の長 投票 全部 放っておくことができない 文案を作成すること ひま 結局 それでよろしいか 残らず 全部
59	緒言 護国 要器 干城 況んや 対峙 優勝劣敗 吾人 涵養 鞏固 惟る 本邦 古制 募兵 抛ち 異域 跋渉 曠原 曝露 硝煙 馳驅 坐視 赤心 倍々 尽忠 義氣 相俟て 弔祭 国光 發揚 奮て 志操 恤兵 義捐	ショゲン ゴコク ヨウキ カンジョウ イワフヤ タイジ ユウショウレツパイ ゴジン カンヨウ キョウコ オモンミル ホンポウ フルセイ ボヘイ ナゲウチ イイキ バッショウ コウゲン バクロ ショウエンダンウ チク ザシ セキシシ マスマス ジンチュウ ギキ アイマツテ チョウサイ コッコウ ハツヨウ フルツテ シソウ ジュッパイ ギエン	前書き はしがき 序文 国の平安を守ること なくてはならぬもの 国家を防ぎ守る軍人や武士 まして 対立する者どうしが、にらみ合ったままじっと動かずにいること 生存競争で強者が栄え、弱者が減ること わたくし われわれ 無理をしないでゆっくりと養い育てること 強くしっかりして、ゆるがないさま よく考える 思いめぐらす 我が国 古いしきたり 兵士を募集すること なげすてる よその国 外国 山野を越え、川をわたり、各地を歩き回ること 広原 広々とした野原 風雨にさらすこと、また、さらされること 火薬の煙が立ちこめ、弾丸が雨のように飛ぶこと 激しい戦場の光景の形容 走りまわること 奔走 黙って見ているだけで、手出しをしないこと 嘘いつわりのない、ありのままの心 まごころ いよいよ 今までにまして 忠義を尽くすこと 正しいことを守り行おうとする意気 いっしょになって 死者の霊をとむらいまつこと 国の栄光、威光 意気を奮い立たせること 自分から進んで 積極的に 自分の主義や主張などを固く守って変えない心 物品を送って、戦地の兵士を慰問すること 慈善や被災者救済などの趣旨で、金銭や品物を差し出すこと
60	招魂 導火 却て 馴致 消磨 一偏 豈 大息 茲に	ショウコン ドウカ カエツテ ジュンチ ショウマ イッペン アニ タイソク ココニ	死者の霊をまねいて祭ったり鎮めたりすること くち火 反対に 逆に なれさせること なじませること すり減ること 一方にかたよること どうして…か 大きなため息をつくこと 嘆くこと ここに



史料番号	字句	よみ	意味
	防遏 潜勢力 益 鞏固 所以 可成 統理 凡て	ボウアツ センセイリョク マスマス キョウコ ユエン ナルベク トウリ スベテ	侵入や拡大などを、防ぎとめること 内部にひそんでいて、表面には現れていない勢力 いよいよ 今までにまして 強くしっかりして、ゆるがないさま 理由 できるだけ 統一しておさめること いっさい
61	金員 善美 一班 壮丁 訓導 唧筒 出水 決潰 防禦 佳辰 佳良 褒状 風儀 頼母子講 統理	キンイン ゼンビ イッパン ソウテイ クンドウ ショクトウ、ソクトウ シュッスイ、デミズ ケツカイ ボウギョ カシン カリョウ ホウジョウ フウギ タノモシコウ トウリ	金額 金銭 物事がよく、しかも美しいこと 組織をいくつかに分けたときのつ 成年に達した男子 明治憲法下で、徴兵検査を受ける義務のある満20歳の男子 旧制小学校の正規の教員の称 ポンプのこと 洪水になること 堤防などが切れて崩れること 防御 防ぎ守ること めでたい日 よい日柄 すぐれていること 賞状 風習 態度 金銭の融通を目的とする民間互助組織 統一しておさめること
62	殆 尽粹 昌隆 愈々 勅諭 醇ふし 振作 四大節 遥拝 廢兵 糶り 在營 参酌 宿營 歓待 入營 壯丁 釀出 統理 掌理 徽章 佩用	ホトンド ジンスイ ショウリュウ イヨイヨ チョクユ アツウシ シンサク シダイセツ ヨウハイ ハイヘイ カカリ ザイエイ サンシャク シュクエイ カンタイ ニュウエイ ソウテイ キョシュツ トウリ ショウリ キショウ ハイヨウ	おおかた 大部分 自分の労苦を顧みることなく、全力を尽くすこと さかんなこと ますます より一層 天皇が直接下した告諭 厚くし 充実し 気持ちや物事の勢いを盛んにすること 奮い起こさせること 旧制で、四つの祝祭日 四方拝(1/1)・紀元節(2/11)・天長節(4/29)・明治節(11/3) 遠くへだたった所から拝むこと 戦争で負傷して、再び戦闘に従事できなくなった兵 かかり 軍務に服していること また、その期間 他のものを参考にして長所を取り入れること 軍隊が營所に宿泊すること 出動した部隊が兵營外で宿泊すること 手厚くもてなすこと 兵役義務者または志願兵が、軍務に就くために兵營にはいること 成年に達した男子 明治憲法下で、徴兵検査を受ける義務のある満20歳の男子 金品を出し合うこと 抛出 統一しておさめること ある仕事を担当してとりまとめること 身分・職業などを表すしるし からだにつけて用いること
63	囊の 防禦 小頭 唧筒 鳶口 梯子 自弁	サキノ ボウギョ コガシラ ショクトウ、ソクトウ トビグチ ハシゴ ジベン	前の 防御 防ぎ守ること 小集団をまとめる長 ポンプのこと 火事のとくに家屋を壊したり、材木運搬の際にひっかけたりするのに用いる はしご 自分で費用を負担すること
64	聖上 茲 爾来 尽粹 昌隆	セイジョウ ココ ジライ ジンスイ ショウリュウ	天子を敬つていう語 ここ それ以来 自分の労苦を顧みることなく、全力を尽くすこと さかんなこと